

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（おきたま） 置賜森林計画区 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 置賜森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県の南部に位置し、北側は最上村山森林計画区、東側は宮城南側及び福島県の阿武隈川森林計画区、南側は福島県の会津森林計画区、西側は新潟県の下越森林計画区に接する、米沢市をはじめとする3市5町にまたがる国有林野76,801haである。</p> <p>主な山岳は、朝日山地では頭殿山(1,203m)、西朝日岳(1,814m)、飯豊山地では大境山(1,102m)や飯豊山(2,105m)、奥羽山脈では吾妻連峰の西吾妻山(2,035m)のほか、栗子山(1,217m)、龍ヶ岳(994m)等がある。</p> <p>主な河川は、吾妻連峰を源流とする最上川が、それぞれ吾妻連峰、飯豊山地、朝日山地を源流とする鬼面川、白川、野川等と合流しながら盆地を北上し、最上村山森林計画区へ流れているほか、これとは水系を異にし朝日山地を源流とする荒川が、飯豊山地を源流とする横川等と合流し、下越森林計画区を経て日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の90%がブナを主とする天然林、10%がスギを主とする人工林である。</p> <p>本森林計画区は、優れた景観を有する地域が多く、原生的な天然林等の優れた自然環境を維持・保全するため、「朝日山地森林生態系保護地域」、「飯豊山周辺森林生態系保護地域」、「吾妻山周辺森林生態系保護地域」が設定されている。さらに、「磐梯朝日国立公園」に指定されており、登山など森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>本森林計画区の国有林野面積の98%が保安林に指定されており、水源の涵養や土砂流出防備等に重要な役割を果たしている。</p> <p>林業・木材産業については、戦後造林したスギ等が成熟し、多くが主伐期を迎えているほか、きのこや木炭等の特用林産物の生産が盛んであり、地域の重要な産業となっている。</p> <p>このため本事業においては、国有林材の安定的・持続的供給に努めつつ、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>170 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,124 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>10.4 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 874,296 千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	170 ha			保育面積	2,124 ha		路網整備	開設延長	10.4 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	170 ha												
		保育面積	2,124 ha												
	路網整備	開設延長	10.4 km												
費用対効果分析 （内訳は様式1のとおり）	総 便 益（B）	8,324,900 千円													
	総 費 用（C）	1,106,792 千円													
	分析結果（B/C）	7.52													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														